



第146回

秋田県種苗交換会

先人に学び農業の未来をひらく

潟上市市民センター「かたりあん」

農業功労者に羽立集落営農組合 新穀感謝農民祭・開会式

2日(木)に開かれた新穀感謝農民祭並びに開会式では、神事や農業功労者の表彰が行われ、農業功労者に潟上市天王の羽立集落営農組合が選出されました。同営農組合は羽立大豆生産集団組合として昭和57年に設立され、ブロックローテーション方式によって現在約80ヘクタールで大豆を栽培しています。秋田県産米改良協会から採種圃場の指定を受けて大豆種子を安定供給しているほか、機械化一貫体系などによる効率化などにも積極的に取り組み、県内の集団転作の先駆けとして大豆の生産振興に長年尽くしてきた功績が称えられました。



主会場 天王総合体育館

天王小6年生の力作!種苗交換会マーク

開催前日の1日(水)に、潟上市立天王小学校の6年生が農産物出品展示会場を訪れ、秋田県種苗交換会のマークの制作に取り組みました。梨や菊、ネギやダリアなどといった地場産の農産物を使い、長さや位置、色合いなどを相談しながら配置していきました。稲は5年生が学習田で収穫したもので、中央の「K」「G」は「K」ATA「G」AMI(潟上)を表したとのこと。子どもたちのアイデアが光る力作に仕上がりました!



11月2日(木)から6日(月)の5日間、第146回秋田県種苗交換会が潟上市で開催されました。当JA管内の天王地区でも、メイン行事の農産物出品展示や談話会などをはじめ、多くのイベントが行われました。市内各所の会場に県内外から多数の人が訪れ、来場者数は71万人に上りました。